
2024年3月期

第2四半期決算説明資料



株式会社 **シーティーエス**

証券コード：4345

2023年10月31日

目次

- ・ 中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）
- ・ 2024年3月期
 - 第2四半期 決算概要
 - 第2四半期 セグメント概要
 - 進捗状況等
 - 連結財務諸表
- ・ 参考資料

・ 中期経営計画

2024年3月期 ~ 2026年3月期までの3カ年

中期経営計画 – 中長期トレンド –

- ▶ 建設投資は堅調に推移するものと想定
- ▶ 建設業界はITの普及及び質的向上を想定

ITを活用した省人化・省力化が加速

- 少子高齢化・働き方改革などによる労働力・熟練技術者の不足
- 資材価格・人件費高騰

ITを活用したデータ・情報・コミュニケーション等のWebアプリの活用拡大

- コロナ禍を経てWebによる非対面型の業務活動が普及

ITの普及に伴い、データ保存・通信などのセキュリティ意識の向上

- デジタル化に伴うランサムウェア等によるサイバー犯罪に関するリスクの増加
- 経済安保等を背景にサプライヤーの選別が論点化

- ▶ 『ハードを主体としたITインフラのレンタル企業』から、『データ・情報関連サービスを統合的に提供し（サイトアシスト）、建設現場の業務を支援する建設ICTの専門企業』へ変身する

□ どこへ

- 1．地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- 2．土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大

□ 何を

- 1．ハード主体のITインフラサービスからデータ・情報関連が中心のデジタルデータサービスへ（サイトアシストサービス）
サイトアシストサービス： DDS事業の統合レンタルサービス

□ どのように

- 1．マーケティング・インサイドセールス機能の強化（専門部署の設置）
- 2．DDS事業により、効率的に顧客開拓・顧客基盤の構築を推進
 - ・現場代理人とのBtoC取引において、水平展開による拡大及びリピート率の向上による生産性向上
 - ・FFC・NWC PictureMaker等のBtoB取引拡大による生産性向上

中期経営計画 –中期経営方針（どこへ）–

- ▶ 地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大 業種別171社
- ▶ 土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大 地場建築Aランク（土木既存）

		業種	
		土木系	建築系
会社規模	地場ゼネコン (地域密着)	現在の 主要顧客	
	広域ゼネコン (全国展開)	ターゲット拡大	

中期経営計画 —中期経営方針（何を）—

- ▶ 建設現場の業務支援に特化した、データ・情報関連サービスを統合的に提供する、建設ICTの専門企業を目指す

	カテゴリ	概要
1	クラウドストレージサービス	データの保管・共有・共同編集 データ検索・分析
2	クラウド映像サービス	映像データの取得・保管・分析・活用
3	コミュニケーションサービス	現場と本社・発注者等との映像・音声によるコミュニケーション
4	通信・ネットワークサービス	現場事務所及び現場内、或いは現場と本社・発注者等との共有ネットワーク（クラウドPBX）
5	プリンティングサービス	データの出力・紙媒体による共有

**カテゴリ毎に協業による
開発体制を強化**

- ハード・ソフトメーカー
- 専門技術を有する企業

**個々の商品・サービスの
品質向上・機能強化**

**クラウドアプリを中心に、現場を遠隔地より支援していくための
統合的なサービス体系を開発**

「サイトアシストサービス」

▶ クラウドストレージサービス（BtoB）

Fileforce For Construction



建設業に特化したクラウドストレージ
（現場のすべてのデータを管理・共有できる）

- 特徴 建設業向けに大容量ファイル（1ファイル20GB）に対応
- 特徴 建設業の為の高度検索機能（ハッシュタグ）
- 特徴 利用者ID無料でJVや協力会社との共同作業が可能
- 特徴 管理代行サービス（有料）でカスタマーサクセスを提供
- 特徴 ランサムウェア対策の新機能をリリース

New（2023/4より）

- 登録数が40,000ID突破（2022年度）
- 経済産業省のIT導入補助金 対象に認定（2023/4/4）
- NTT東日本との共同出資を完了（2023/4）

▶ クラウド映像サービス（BtoB）

ネットワークカメラ クラウドサービス（知覚情報の80%は視覚）



高画質な映像を安定提供できる
ネットワークカメラサービス



GOLDパートナーへ昇格 2023/1

 CAMSTREAMER 高画質クラウドフル録画
New(2023/6)

Youtubeダイレクトストリーム



高画質クラウドオートタイムラプス
2022/7より

AI顔認証出退勤管理システム

KAO Pass



高精度な顔認証出退勤管理システムで現場作業員の勤怠情報に加え、検温機能により健康管理を提供。
マスク、ヘルメットでも認証
今期CCUS連携提供予定

遠隔臨場システム

GENBA
コネクト



ネット回線を通じて映像と音声で現場の状況をリアルタイムに把握できる。発注者との遠隔臨場はもちろん、社内検査や遠隔での進捗確認にも利用。

▶ 通信・ネットワークサービス（BtoC/BtoB）

衛星回線 **New(2023/1より)**



携帯回線、光回線が繋がらない山間部や海沿いや海上の現場へ、衛星回線によるインターネット通信を確立する。

モバイル回線



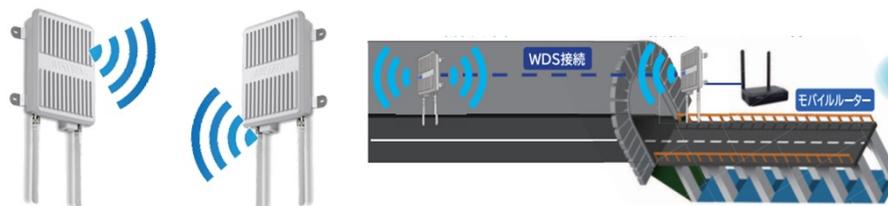
電話一本で最短翌日開通でき光回線比95%短縮（手続工数も70%削減）
モバイルインターネット、電話、FAXの3点セットサービス
モバイル回線は、通信量超過しても速度制限が掛からない独自回線
クラウドPBXサービスも開始 **New(2023/3より)**

光回線



大型現場、長期現場、大容量通信を行う現場向けに、NTT 光回線
を提供。東西統一したプロバイダー（NTTコミュニケーションズ）

ローカルネットワーク（長距離無線LANメッシュWiFi） **New(2023/1より)**

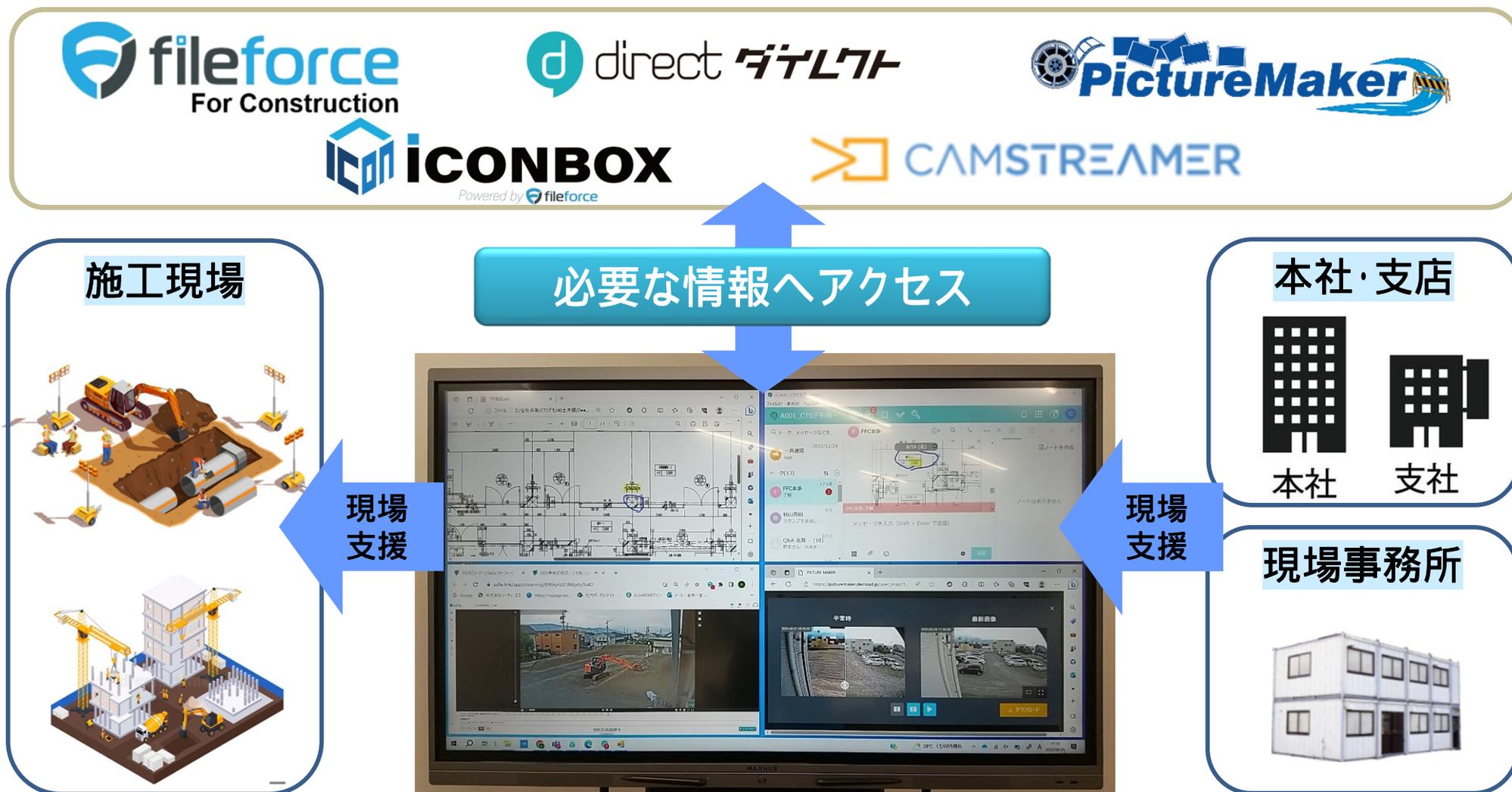


ネット回線が届かないエリアに、屋外対応アクセスポイントを利用し、ネットワーク環境を構築。
安全管理 遠隔臨場の用途でニーズが増加

中期経営計画 -中期経営方針(何を)- DDS事業カテゴリ紹介

- ▶ 現場に居なくても現場の状況が把握できる仕組み「**サイトアシストサービス**」を提供し、**安全管理・品質管理・工程管理**において、現場代理人不足の課題解決をサポートする。

連携概念図

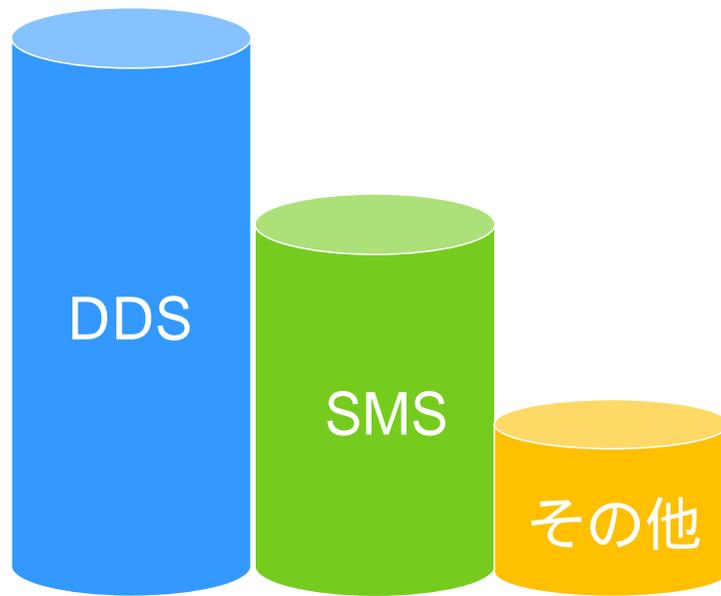


中期経営計画 —中期経営方針（どのように）—

▶ DDS事業により、効率的に顧客開拓・顧客基盤の構築を推進

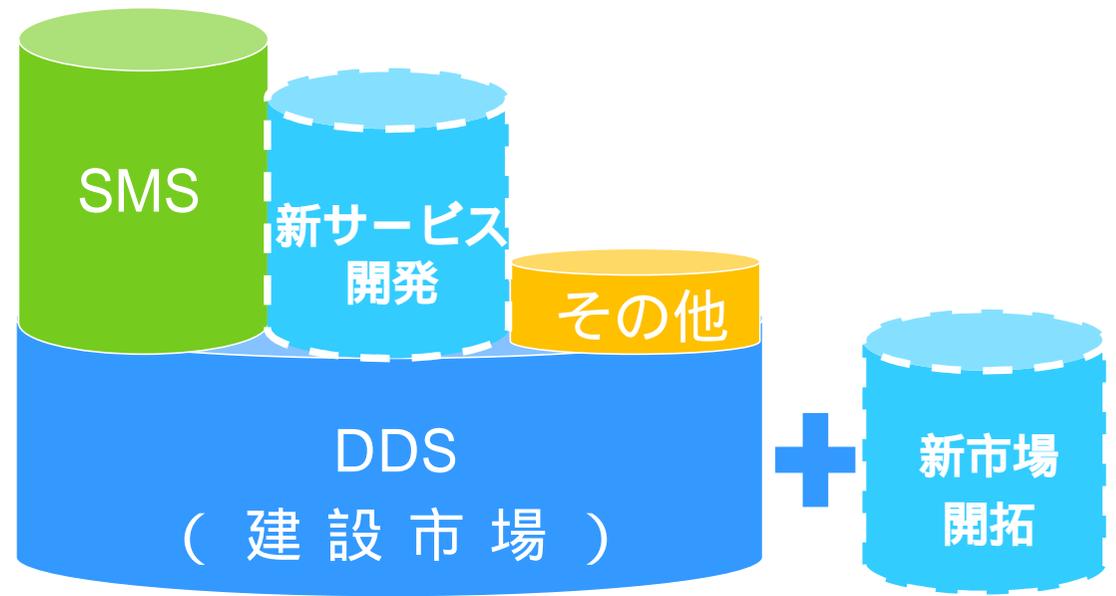
【イメージ図】

従来



DDS・SMS・SHを
並行で事業展開

今後



DDSをベースに展開し、
顧客特性に応じたサービスを上乗せする
新市場の開拓を推進する

中期経営計画 — 中期経営目標 —

- ▶ 中期経営方針に基づき、2026年3月期において以下の目標を達成すべく事業を推進

売上高	営業利益	営業利益率	ROE	リピート率
140億円 2023年3月期比 + 30%	36億円 2023年3月期比 + 30%	25%超	20%超	90%超

リピート率は、直接的なユーザーである現場代理人を対象に、下記の計算式で算出しております。

$$\text{リピート率} = \frac{\text{前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数}}{\text{前期取引があった現場代理人数}}$$

中期経営計画 — 中期経営目標（セグメント別売上目標） —

▶ DDS事業を中心とした業績の拡大を図る

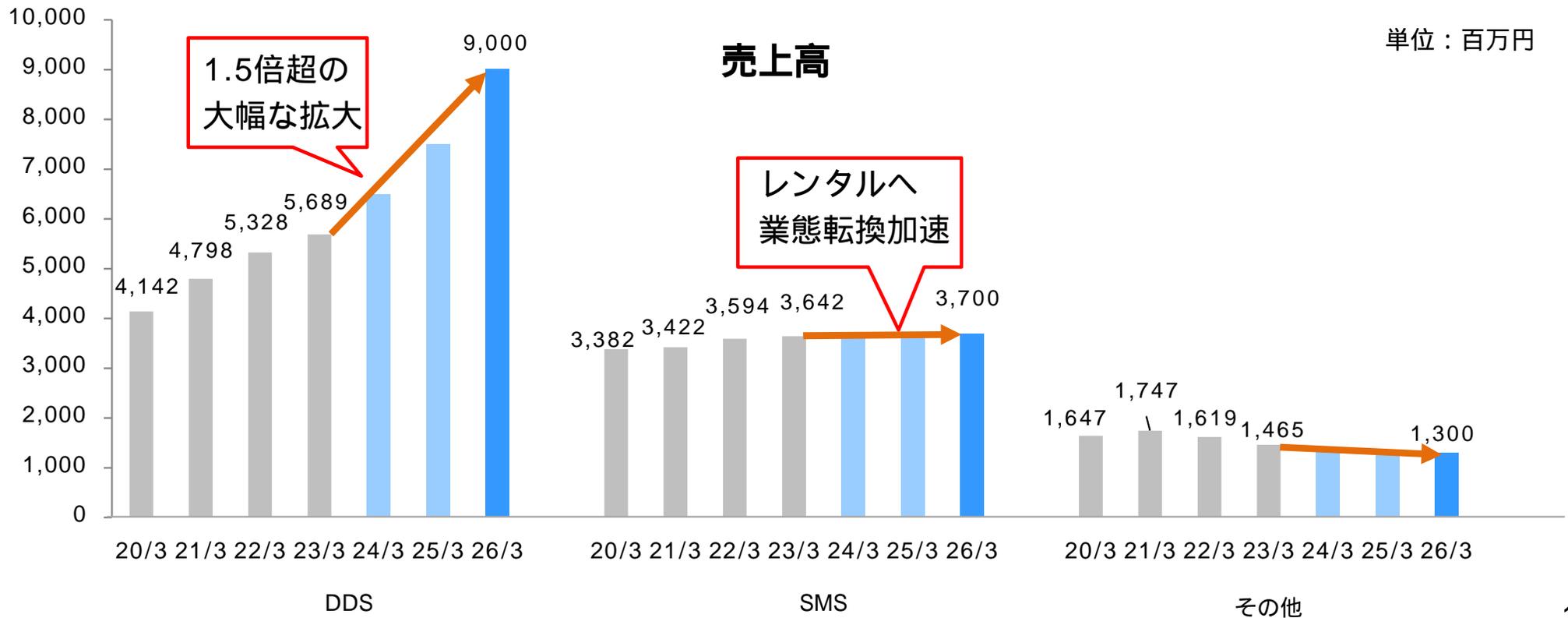
単位：百万円

	2023/3期
	実績
DDS事業	5,689
SMS事業	3,642
その他（ ）	1,465
売上高合計	10,797



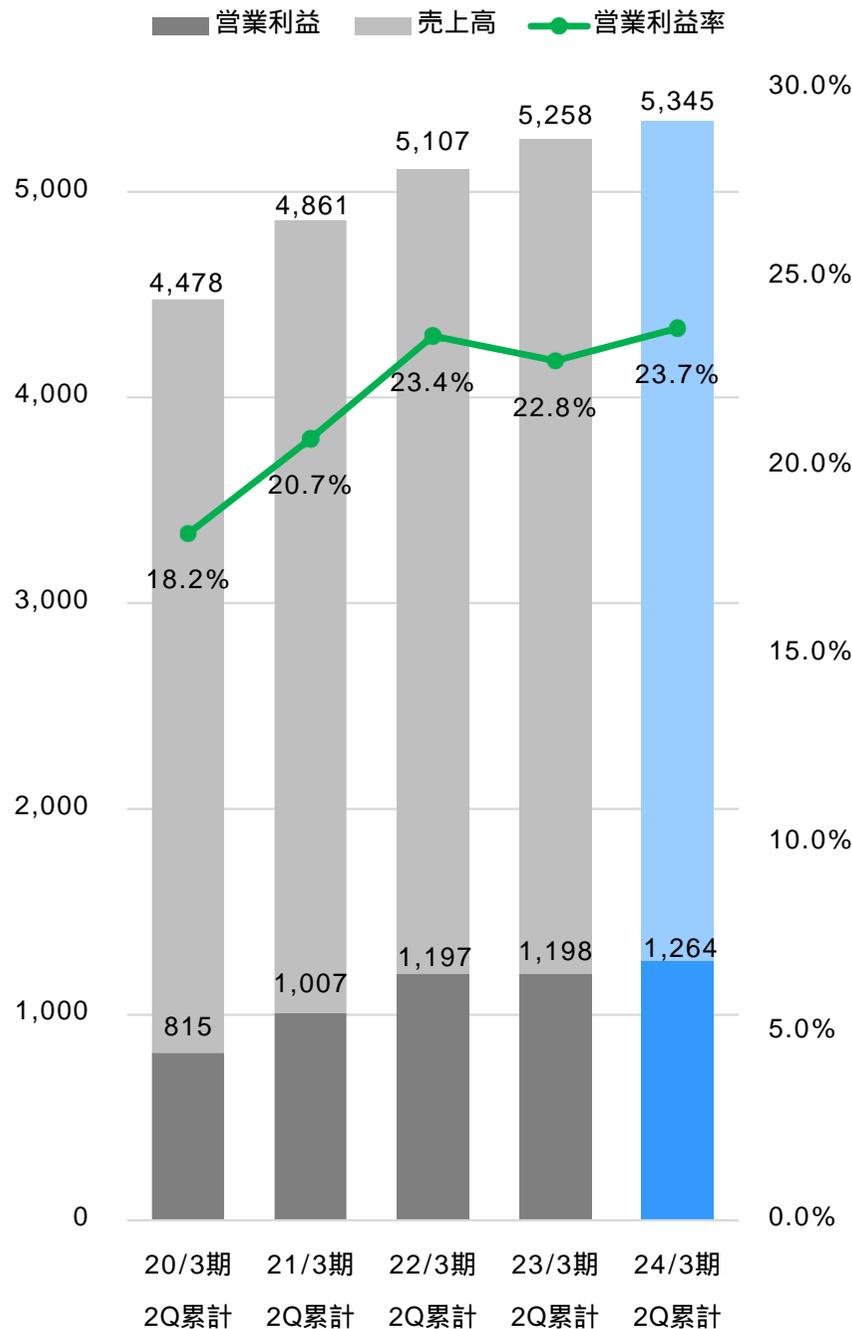
2026/3期	2023/3期対比	
目標値	増減額	増減率
9,000	3,310	158.2%
3,700	57	101.6%
1,300	165	88.7%
14,000	3,202	129.7%

今回策定いたしました中期経営計画より、DDS事業への注力に伴う重要性の低下を想定し、従来のSH事業につきましては、セグメント上「その他」へ変更しております。その結果、「その他」には「SH事業、道路標示及び標識の工事等」が含まれております。



・ 2024年 3 月期

第 2 四半期 決算概要



単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	前期対比	
	2 Q累計	2 Q累計	増減額	前期比
売上高	5,258	5,345	86	101.7%
営業利益	1,198	1,264	65	105.5%
営業利益率	22.8%	23.7%	0.9%	—

- ▶ 売上高・営業利益ともに過去最高
- ▶ 営業利益は、付加価値の高いDDS事業のレンタル・サブスクリプションサービスの売上高が堅調に推移し増益

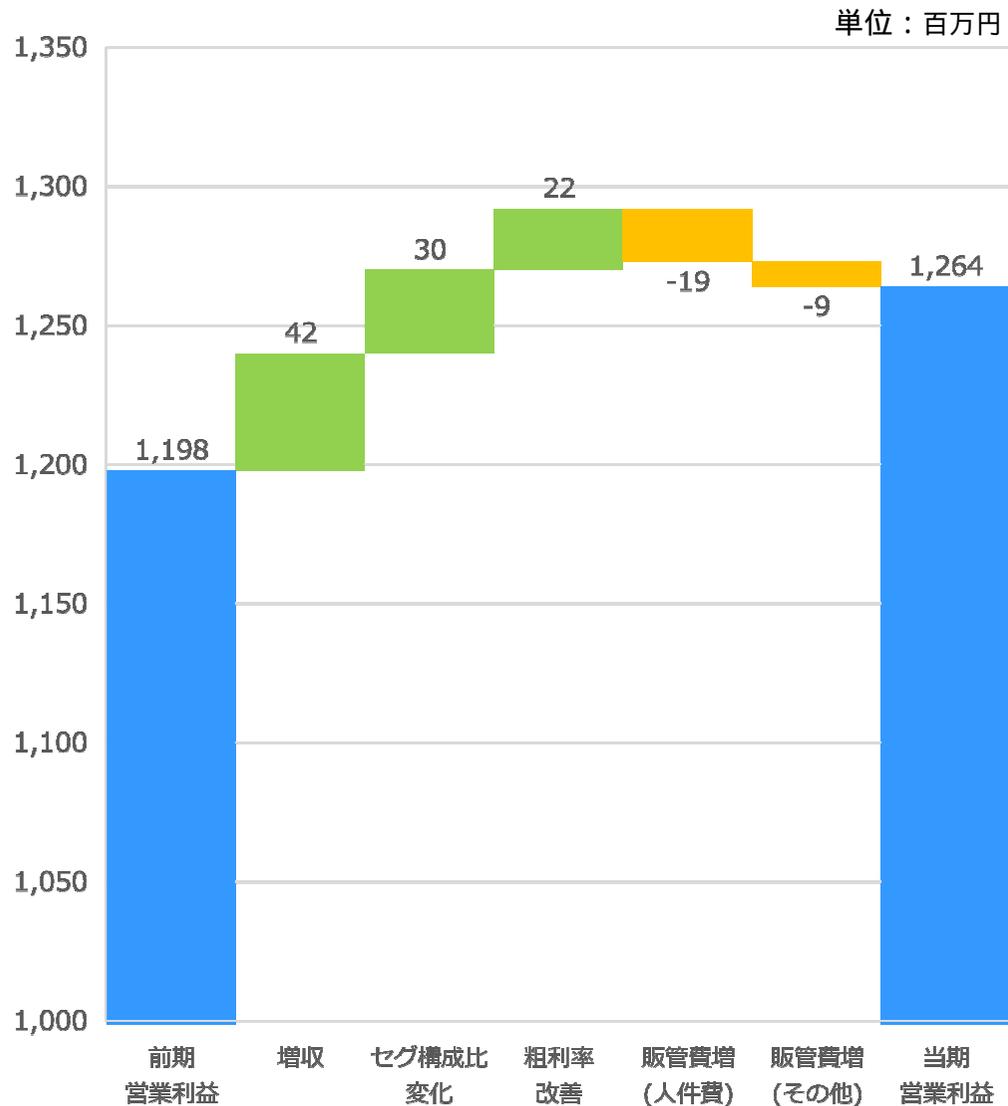
全社損益概要

2024年3月期 第2四半期決算概要

単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	前期対比		
	2Q累計	2Q累計	増減額	前期比	コメント
売上高	5,258	5,345	86	101.7%	・既存顧客を中心に、DDS商品・サービスの受注が増加
売上総利益	2,576	2,671	94	103.7%	・付加価値の高いDDS事業のレンタル・サブスクリプションサービスの売上高の増加が寄与
(売上総利益率)	49.0%	50.0%	1.0%	—	
販管費	1,378	1,407	29	102.1%	・処遇改善等による人件費の増加に加え、マーケティング活動を含む営業活動費用が増加したことによるもの
営業利益	1,198	1,264	65	105.5%	
(営業利益率)	22.8%	23.7%	0.9%	—	
経常利益	1,160	1,247	86	107.5%	・営業外損益の改善により増益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	777	833	56	107.2%	

営業利益の増加要因（グループ全体）



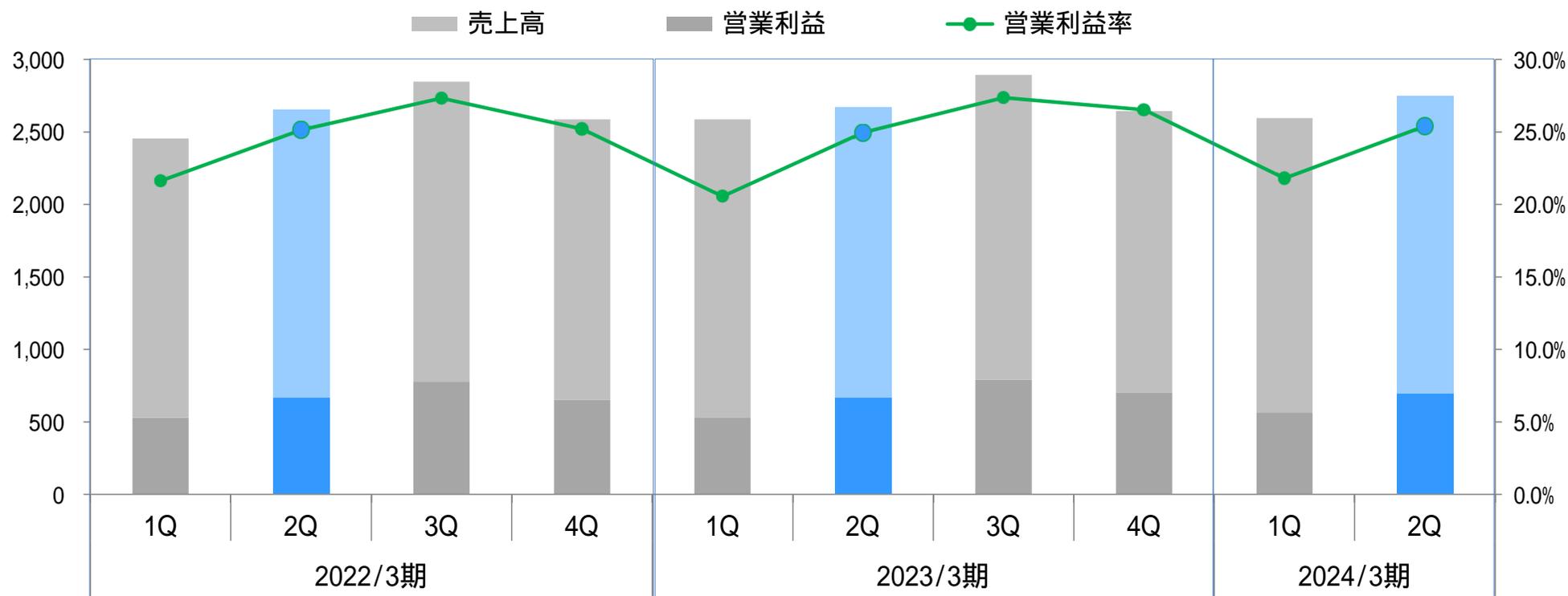
- ▶ **増収**
既存顧客を中心に受注が堅調に推移したことによるもの
- ▶ **セグ構成比変化、粗利率改善**
付加価値の高いDDS事業のレンタル・サブスクリプションサービスの売上高が堅調に推移したことによるもの
- ▶ **販管費増加**
処遇改善等による人件費の増加に加え、マーケティング活動を含む営業活動費用の増加によるもの

全社損益推移

2024年3月期 第2四半期決算概要

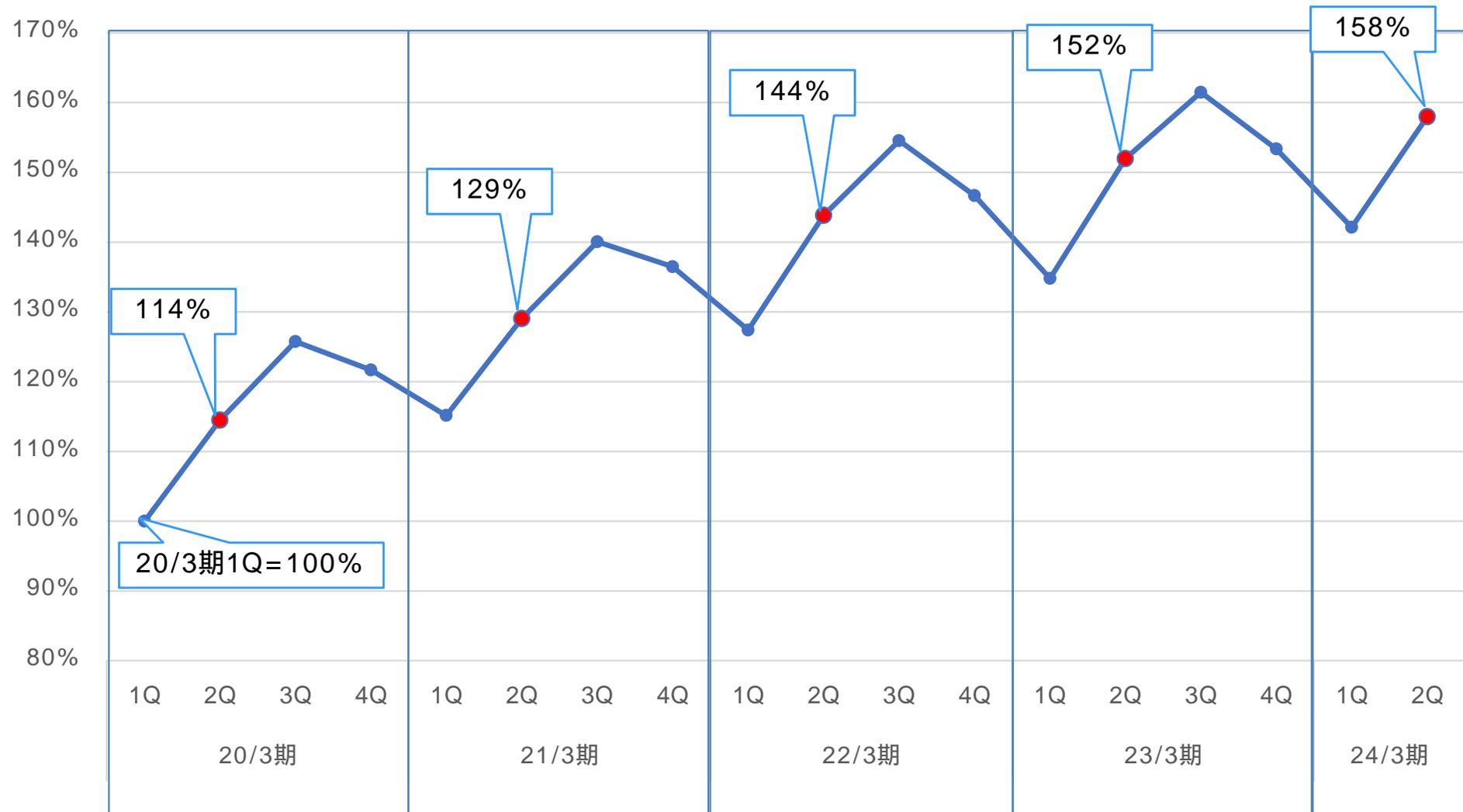
単位：百万円

	2022/3期				2023/3期				2024/3期		前期対比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	前期比
売上高	2,456	2,651	2,847	2,586	2,587	2,670	2,894	2,644	2,597	2,748	77	102.9%
営業利益	530	666	778	652	531	666	791	701	566	698	31	104.7%
営業利益率	21.6%	25.1%	27.3%	25.2%	20.6%	25.0%	27.4%	26.5%	21.8%	25.4%	0.4%	-



▶ DDS商品・サービスの営業に注力した結果、取引現場数も堅調に推移

取引現場数推移(請求書発行ベース)



貸借対照表概要

2024年3月期 第2四半期決算概要

単位：百万円

	2023/3期 3月末	2024/3期 9月末	増減額	主な増減内容
流動資産	8,710	8,985	275	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金：+41百万円 ・受取手形及び売掛金：+93百万円 ・棚卸資産：+72百万円 ・その他流動資産：+68百万円
固定資産	6,031	6,698	666	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産：134百万円 ・無形固定資産：+47百万円 ・その他投資：+244百万円 ・投資有価証券：+510百万円
資産合計	14,741	15,684	942	
流動負債	2,745	2,975	229	<ul style="list-style-type: none"> ・買掛金：+264百万円 ・未払法人税等：92百万円 ・その他流動負債：+57百万円
固定負債	1,413	1,424	10	<ul style="list-style-type: none"> ・リース債務：135百万円 ・その他固定負債：+145百万円
負債合計	4,159	4,399	240	
株主資本	10,437	10,783	346	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期純利益計上：833百万円 ・配当金支払：487百万円
その他の包括利益累計額	144	500	356	<ul style="list-style-type: none"> ・その他有価証券評価差額金：+356百万円
純資産合計	10,582	11,284	702	
負債・純資産合計	14,741	15,684	942	
自己資本比率	71.8%	71.9%	0.1%	

キャッシュ・フロー計算書概要

2024年3月期 通期決算概要

単位：百万円

	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	2024/3期2Qの主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	1,282	1,344	<ul style="list-style-type: none"> ・税引等調整前四半期純利益：+1,274百万円 ・減価償却費：+470百万円 ・持分法による投資損益：+56百万円 ・売上債権の増加額：86百万円 ・たな卸資産の増加額：72百万円 ・仕入債務の増加額：+310百万円 ・法人税等の支払額：468百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	45	400	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出：27百万円 ・無形固定資産の取得による支出：73百万円 ・関係会社株式の取得による支出：297百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	876	902	<ul style="list-style-type: none"> ・リース債務の返済による支出：414百万円 ・配当金の支払額：487百万円
現金及び 現金同等物の期末残高	5,533	6,314	

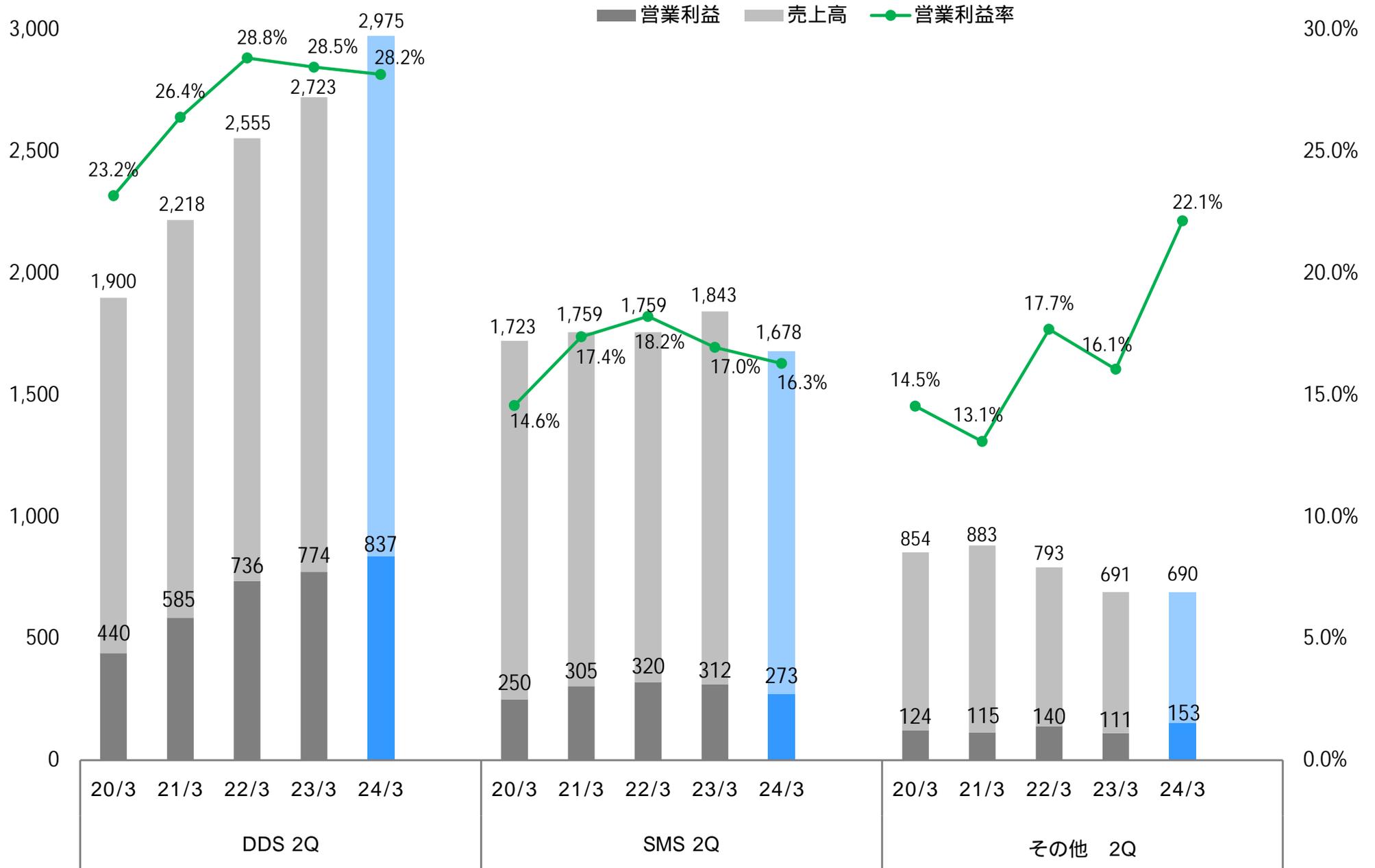
・ 2024年 3 月期

第 2 四半期 セグメント概要

セグメント別損益概要

2024年3月期 第2四半期セグメント概要

単位：百万円



「その他」には「SH事業、道路標示及び標識の工事等」が含まれております。

セグメント別損益概要

2024年3月期 第2四半期セグメント概要

売上高

単位：百万円

	2023/3期 2Q累計		2024/3期 2Q累計		前期対比		
		(構成比)		(構成比)	増減額	前期比	コメント
DDS事業	2,723	51.7%	2,975	55.7%	252	109.3%	・統合的なサービス提案活動に基づく既存顧客からの受注が堅調に推移し増収
SMS事業	1,843	35.1%	1,678	31.4%	165	91.0%	・測量機器販売エリアの縮小・ICT施工関連のレンタル商材の絞り込みにより、レンタル・販売ともに減収
その他	691	13.2%	690	12.9%	0	99.9%	・SH事業のレンタル及び専門工事の受注が堅調に推移し前期を維持
売上高合計	5,258	100.0%	5,345	100.0%	86	101.7%	

営業利益

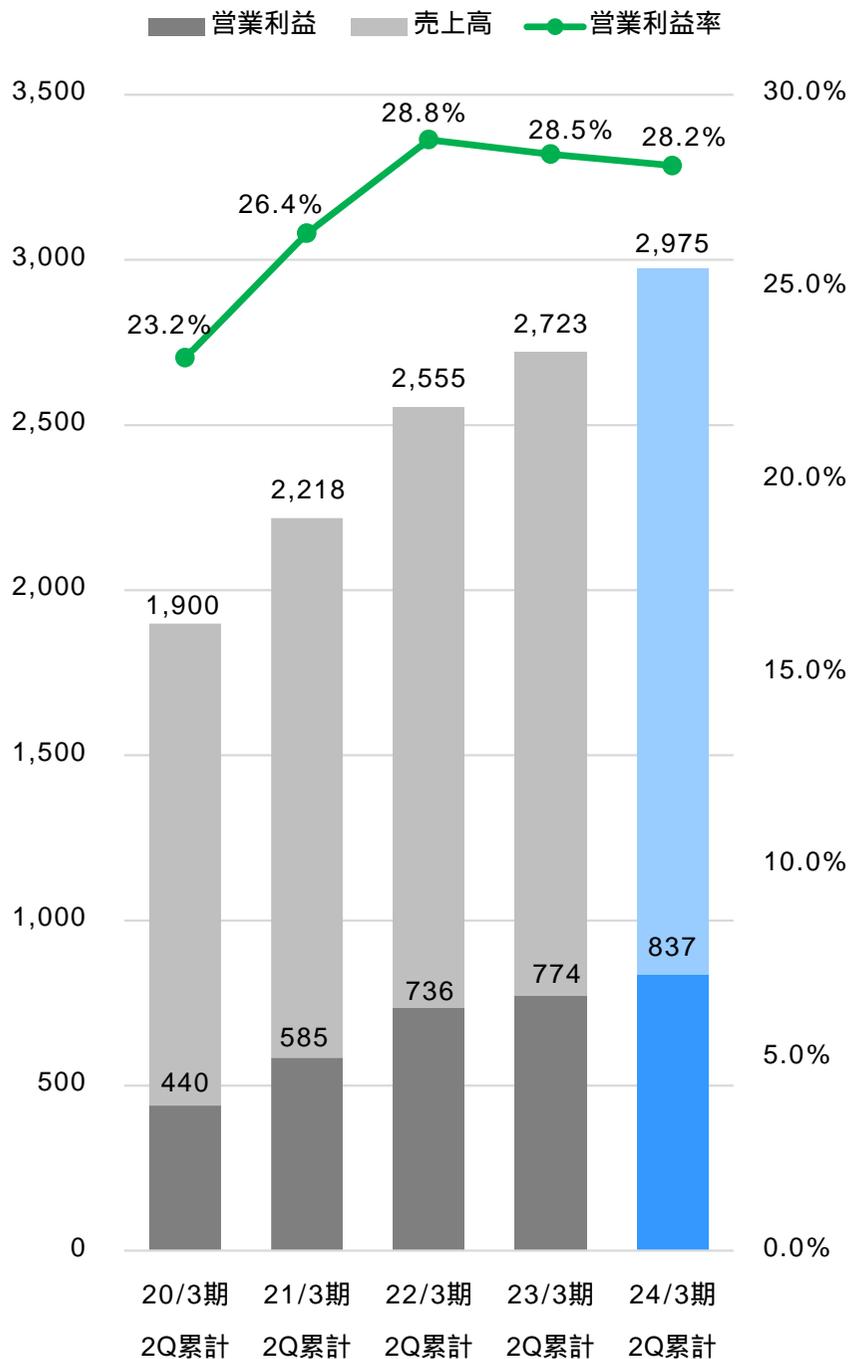
単位：百万円

	2023/3期 2Q累計		2024/3期 2Q累計		前期対比		
		(構成比)		(構成比)	増減額	前期比	コメント
DDS事業	774	64.7%	837	66.3%	63	108.1%	・レンタル・サブスクリプションサービスの売上高の伸長が寄与し増益
SMS事業	312	26.1%	273	21.6%	39	87.5%	・絞り込みによる管理コストの削減・営業活動の効率化などが寄与したが、処遇改善等による人件費の増加により減益
その他	111	9.2%	153	12.1%	41	137.8%	・SH事業におけるレンタル原価の削減が寄与し増益
営業利益合計	1,198	100.0%	1,264	100.0%	65	105.5%	

「その他」には「SH事業、道路標示及び標識の工事等」が含まれております。

デジタルデータサービス事業の損益概要

2024年3月期 第2四半期セグメント概要

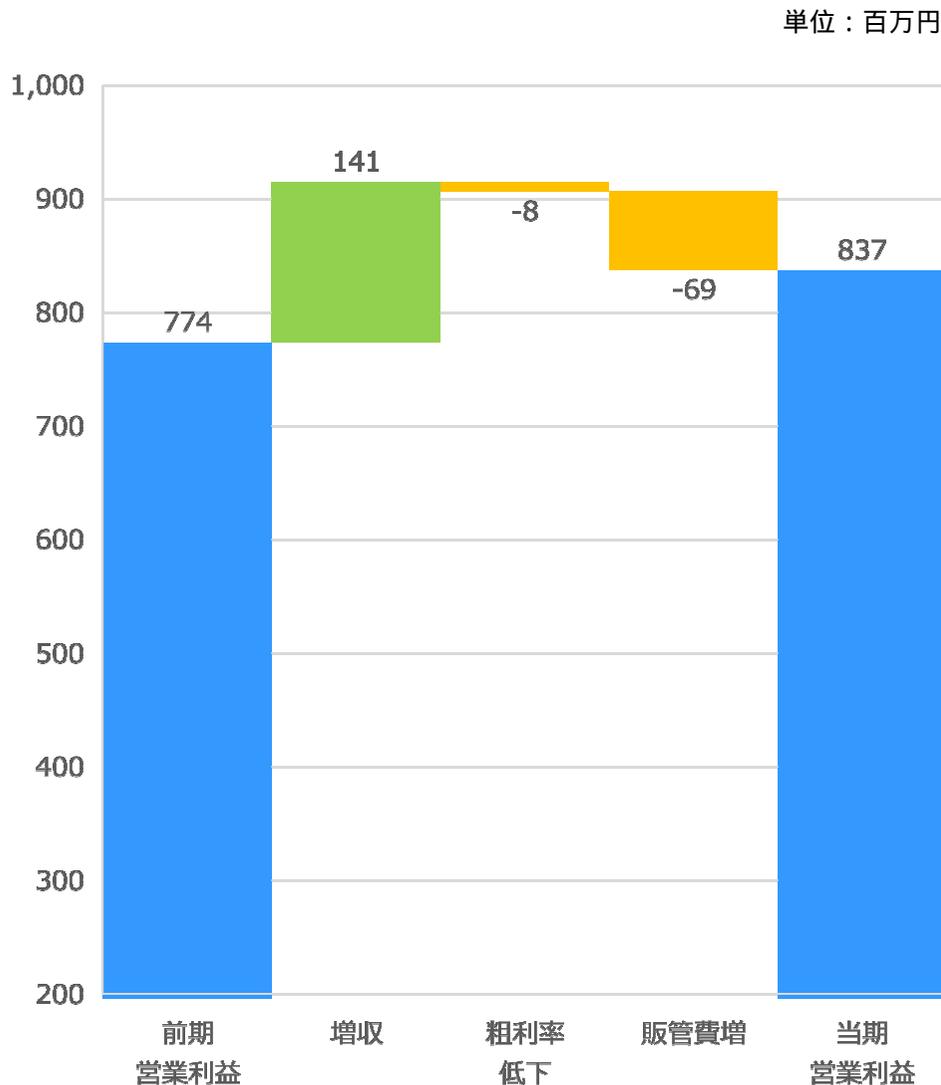


単位：百万円

	2023/3期	2024/3期	前期対比	
	2 Q 累計	2 Q 累計	増減額	前期比
売上高	2,723	2,975	252	109.3%
営業利益	774	837	63	108.1%
営業利益率	28.5%	28.2%	0.3%	—

- ▶ 売上高・営業利益ともに過去最高
- ▶ 統合的な提案活動に努めた結果、既存顧客を中心に受注が堅調に推移し増収
- ▶ レンタル・サブスクリプションサービスの売上高の伸長が寄与し増益

営業利益の増加要因(デジタルデータサービス事業)



増収・粗利率改善

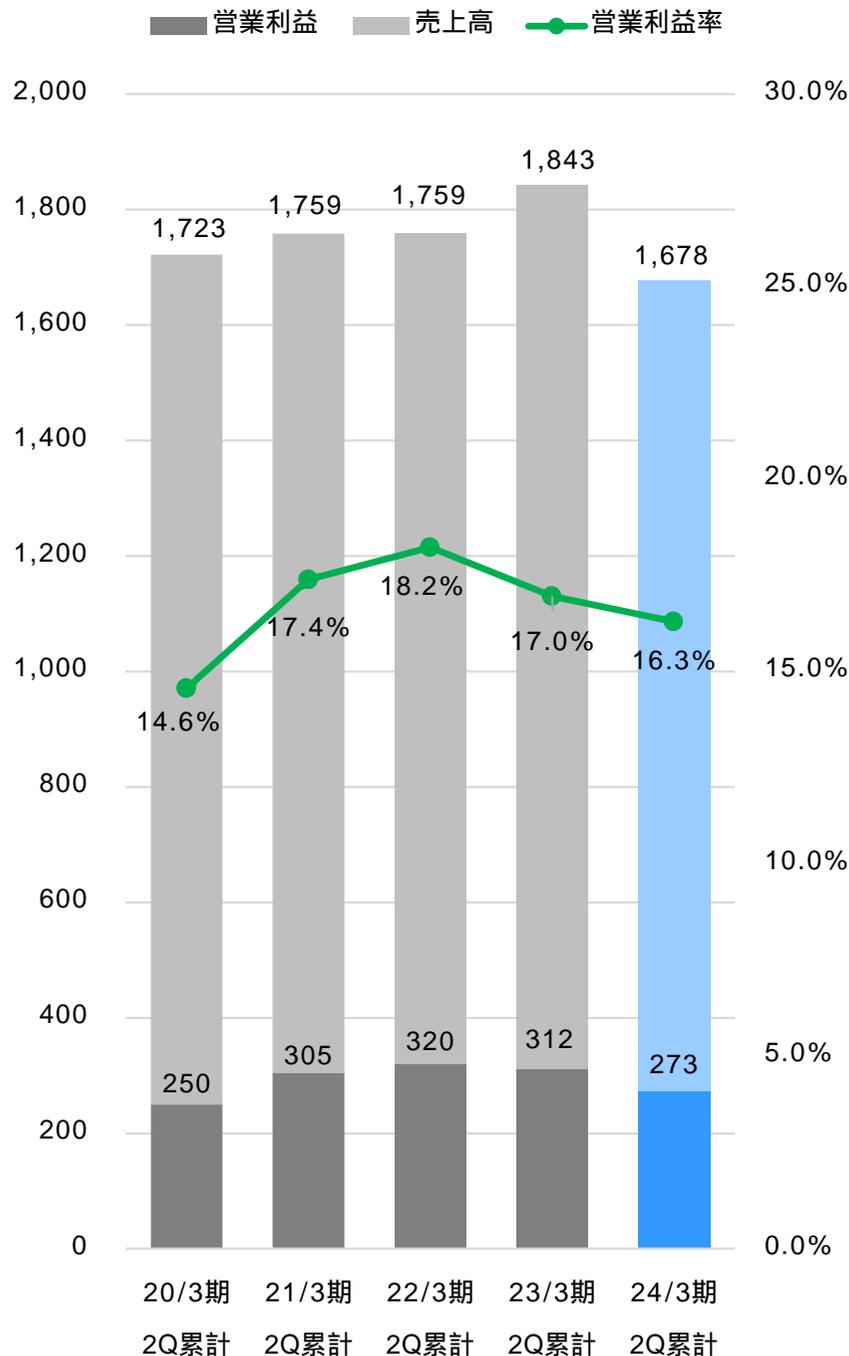
統合的なサービス提案に努めた結果、既存顧客を中心に受注が堅調に推移し増収

販管費増加

営業活動費用の増加及びデジタル機器管理センターの体制強化に伴う人件費の増加等によるもの

測量計測システム事業の損益概要

2024年3月期 第2四半期セグメント概要



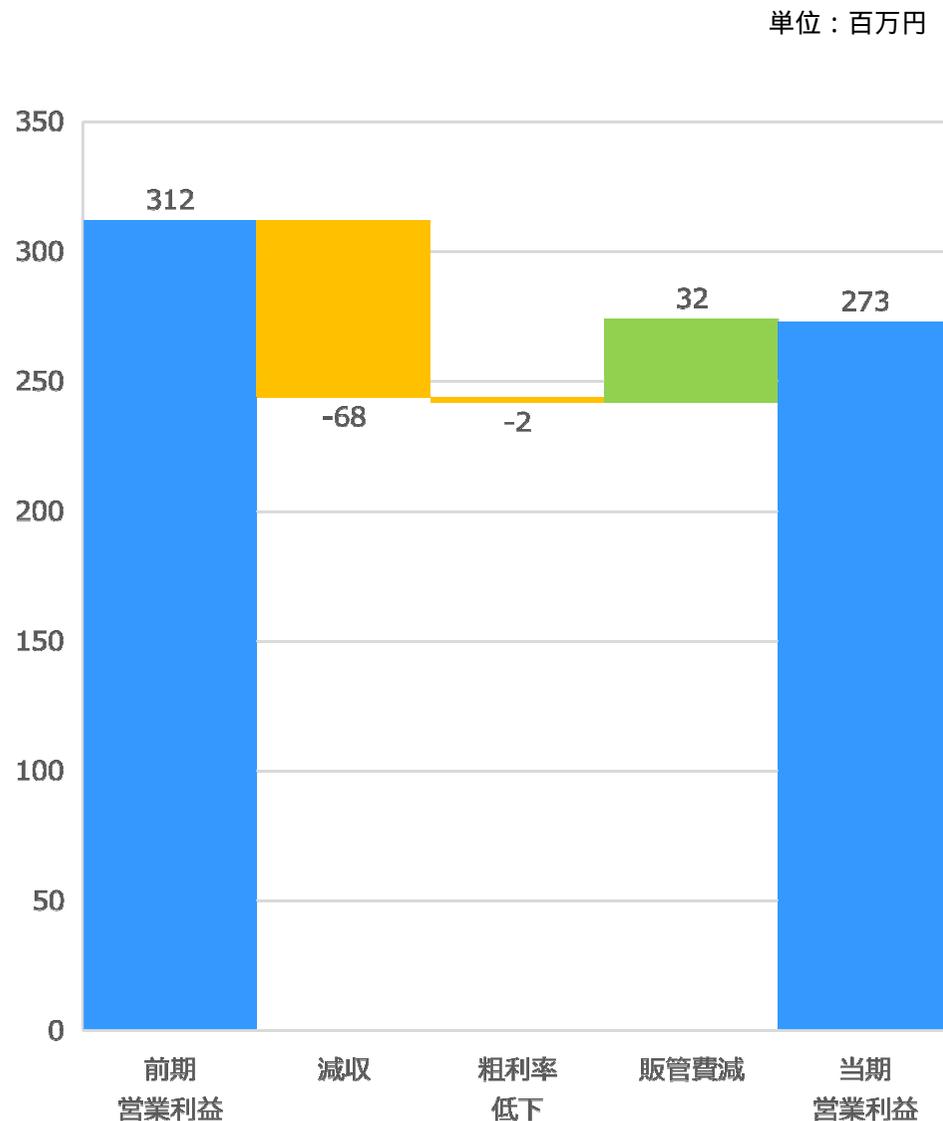
単位：百万円

	2023/3期 2 Q 累計	2024/3期 2 Q 累計	前期対比	
			増減額	前期比
売上高	1,843	1,678	165	91.0%
営業利益	312	273	39	87.5%
営業利益率	17.0%	16.3%	0.7%	—

▶ 測量機器販売エリアの縮小・ICT施工関連のレンタル商材の絞り込みにより、レンタル・販売ともに減収

▶ 減収の影響により、売上総利益が減少し減益

営業利益の減少要因(測量計測システム事業)



減収

測量機器販売エリアの縮小・ICT施工関連のレンタル商材の絞り込みによるもの

販管費減少

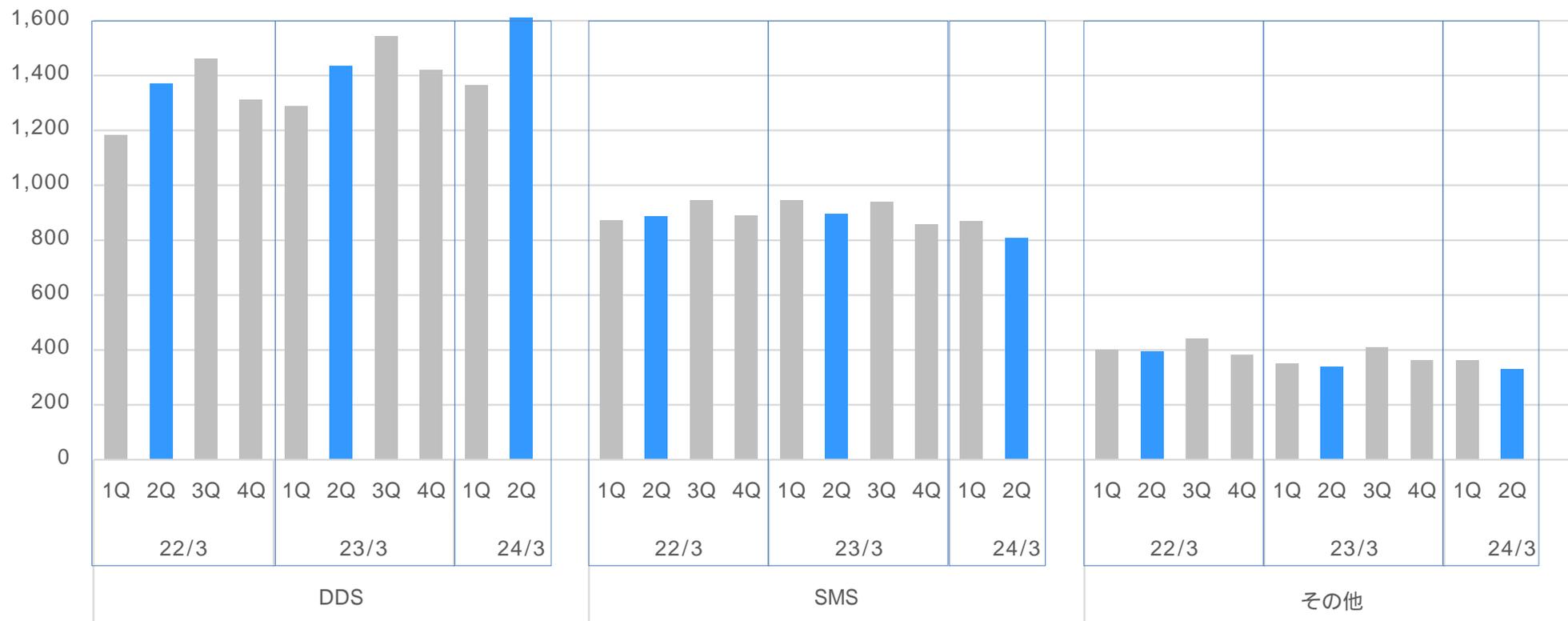
- ・ 業務絞り込みによる管理コスト削減・営業活動の効率化によるもの
- ・ 減収に伴うセグメント間の販管費配賦額が減少したことによるもの

セグメント別売上高推移

2024年3月期 第2四半期セグメント概要

単位：百万円

	2022/3期				2023/3期				2024/3期		前期対比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	前期比
DDS事業	1,184	1,371	1,460	1,312	1,288	1,434	1,545	1,420	1,365	1,610	176	112.3%
SMS事業	871	887	945	890	947	896	938	859	870	808	87	90.2%
その他	399	393	442	383	351	340	410	363	361	329	11	96.7%
売上高合計	2,456	2,651	2,847	2,586	2,587	2,670	2,894	2,644	2,597	2,748	77	102.9%

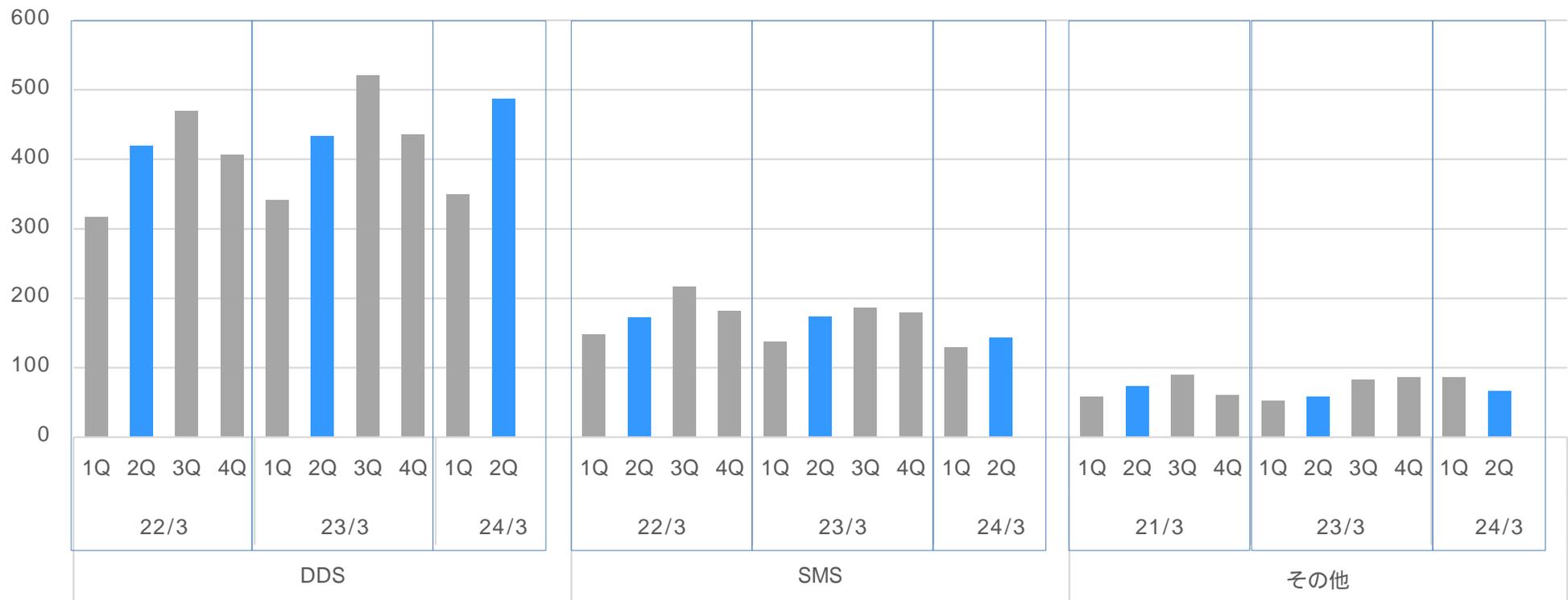


セグメント別営業利益推移

2024年3月期 第2四半期セグメント概要

単位：百万円

	2022/3期				2023/3期				2024/3期		前期対比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額	前期比
DDS	317	419	470	407	341	433	521	435	350	487	54	112.5%
SMS	148	172	217	182	138	174	186	179	130	143	30	82.3%
その他	65	74	90	61	52	58	83	86	86	66	8	113.7%
営業利益合計	530	666	778	652	531	666	791	701	566	698	31	104.7%



セグメント別営業利益率推移

2024年3月期 第2四半期セグメント概要

	2022/3期				2023/3期				2024/3期		前期対比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	増減額
DDS	26.8%	30.6%	32.2%	31.0%	26.5%	30.2%	33.7%	30.7%	25.7%	30.3%	0.1%
SMS	17.0%	19.4%	23.0%	20.5%	14.6%	19.4%	19.9%	20.9%	15.0%	17.7%	1.7%
その他	16.4%	19.0%	20.5%	16.1%	14.8%	17.3%	20.4%	23.7%	23.8%	20.4%	3.1%
営業利益率合計	21.6%	25.1%	27.3%	25.2%	20.6%	25.0%	27.4%	26.5%	21.8%	25.4%	0.4%



・ 2024年 3 月期

進捗状況等

前期実績と当期計画対比 進捗状況等

単位：百万円

	2Q累計				通期			
	2023/3期 実績	2024/3期 計画	前期対比		2023/3期 実績	2024/3期 計画	前期対比	
			増減額	前期比			増減額	前期比
DDS事業	2,723	—	—	—	5,689	6,500	810	114.2%
SMS事業	1,843	—	—	—	3,642	3,600	42	98.8%
その他	691	—	—	—	1,465	1,400	65	95.5%
売上高合計	5,258	5,500	241	104.6%	10,797	11,500	702	106.5%
営業利益	1,198	1,230	31	102.6%	2,691	2,800	108	104.0%
(営業利益率)	22.8%	22.4%	0.4%	—	24.9%	24.3%	0.6%	—
経常利益	1,167	1,200	32	102.8%	2,722	2,770	47	101.8%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	784	840	55	107.1%	1,758	1,930	171	109.7%

進捗状況(中間・通期) 進捗状況等

▶ 中間（2Q累計）・通期ともに業績予想の変更はございません。

単位：百万円

	2024/3期実績 2Q累計	2024/3期計画 2Q累計	達成率	2024/3期計画 通期	進捗率
DDS事業	2,975	—	—	6,500	45.8%
SMS事業	1,678	—	—	3,600	46.6%
その他	690	—	—	1,400	49.3%
売上高合計	5,345	5,500	97.2%	11,500	46.5%
営業利益	1,264	1,230	102.8%	2,800	45.2%
(営業利益率)	23.7%	22.4%	—	24.3%	—
経常利益	1,247	1,200	104.0%	2,770	45.0%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	833	840	99.2%	1,930	43.2%

配当予想 進捗状況等

▶ 中間・通期ともに配当予想の変更はございません。

	1株当たり配当金		
	中間	期末	合計
2023年3月期(実績)	10.50円 (普通配当 8.00円) (記念配当 2.50円)	11.50円 (普通配当 9.00円) (記念配当 2.50円)	22.00円 (普通配当 17.00円) (記念配当 5.00円)
2024年3月期(実績)	10.00円 (普通配当 10.00円)		
2024年3月期(予想)		10.00円 (普通配当 10.00円)	20.00円 (普通配当 20.00円)

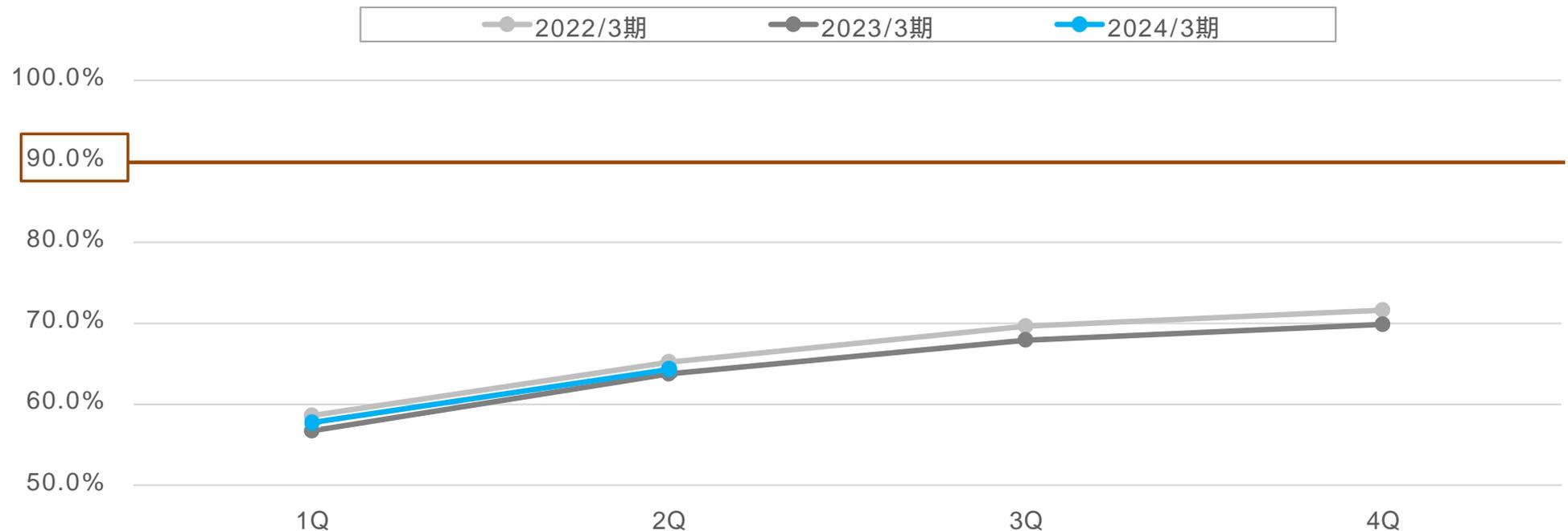
リピート率の状況 進捗状況等

▶ 中期経営計画において、リピート率90%を目標に活動中。

	1Q	2Q	3Q	4Q
2024/3期	57.7%	64.3%		
2023/3期	56.7%	63.8%	68.0%	69.9%
2022/3期	58.6%	65.2%	69.6%	71.6%

リピート率 = 前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数 ÷ 前期取引があった現場代理人数

リピート率の計算に関して、分子である「前期取引があり、かつ当期取引があった現場代理人数」につきましては当期累計実績を参照しているのに対して、分母である「前期取引があった現場代理人数」につきましては、前年通期の実績を参照しておりますので、リピート率は経過とともに高まっていく見込みです。



· 2024年3月期

連結財務諸表

貸借対照表（資産の部） 連結財務諸表

単位：百万円

	2023/3期 (2023年3月31日)		2024/3期 第2四半期末 (2023年9月30日)		前期末対比 増減額
		(構成比)		(構成比)	
・ 現金及び預金	6,272	42.6%	6,314	40.3%	41
・ 受取手形及び売掛金	1,672	11.3%	1,765	11.3%	93
・ 棚卸資産	366	2.5%	438	2.8%	72
・ その他流動資産	401	2.7%	469	3.0%	68
・ 貸倒引当金	2	0.0%	2	0.0%	0
流動資産合計	8,710	59.1%	8,985	57.3%	275
・ リース資産	1,916	13.0%	1,786	11.4%	130
・ その他	1,754	11.9%	1,750	11.2%	4
有形固定資産合計	3,671	24.9%	3,536	22.6%	134
無形固定資産合計	113	0.8%	161	1.0%	47
・ 投資有価証券	2,140	14.5%	2,651	16.9%	510
・ その他	112	0.8%	357	2.3%	244
・ 貸倒引当金	7	0.1%	7	0.0%	0
投資その他の資産合計	2,245	15.2%	3,000	19.1%	754
固定資産合計	6,031	40.9%	6,698	42.7%	666
資産合計	14,741	100.0%	15,684	100.0%	942

貸借対照表（負債及び純資産の部）

連結財務諸表

単位：百万円

	2023/3 期末 (2023年3月31日)		2024/3 期 第2四半期末 (2023年9月30日)		前期末対比 増減額
		(構成比)		(構成比)	
・買掛金	481	3.3%	746	4.8%	264
・未払法人税等	499	3.4%	406	2.6%	92
・その他	1,764	12.0%	1,822	11.6%	57
流動負債合計	2,745	18.6%	2,975	19.0%	229
・リース債務	1,183	8.0%	1,048	6.7%	135
・その他	230	1.6%	375	2.4%	145
固定負債合計	1,413	9.6%	1,424	9.1%	10
負債合計	4,159	28.2%	4,399	28.1%	240
・資本金	3,000	20.4%	3,000	19.1%	0
・利益剰余金	8,159	55.4%	8,505	54.2%	346
・自己株式	722	4.9%	722	4.6%	0
株主資本合計	10,437	70.8%	10,783	68.8%	346
・その他有価証券評価差額金	144	1.0%	500	3.2%	356
その他の包括利益累計額合計	144	1.0%	500	3.2%	356
純資産合計	10,582	71.8%	11,284	71.9%	702
負債純資産合計	14,741	100.0%	15,684	100.0%	942

損益計算書 連結財務諸表

単位：百万円

	2023/3期 第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		2024/3期 第2四半期 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		前期比
		(構成比)		(構成比)	
売上高	5,258	100.0%	5,345	100.0%	101.7%
売上原価	2,681	51.0%	2,673	50.0%	99.7%
売上総利益	2,576	49.0%	2,671	50.0%	103.7%
販売費及び一般管理費	1,378	26.2%	1,407	26.3%	102.1%
営業利益	1,198	22.8%	1,264	23.7%	105.5%
営業外収益	63	1.2%	60	1.1%	96.0%
・受取配当金	59		58		
・その他	3		2		
営業外費用	100	1.9%	77	1.4%	76.8%
・支払利息	25		21		
・持分法による投資損失	57		56		
・租税公課	18		-		
経常利益	1,160	22.1%	1,247	23.3%	107.5%
税金等調整前四半期純利益	1,160	22.1%	1,247	23.3%	107.5%
法人税等	383	7.3%	414	7.8%	108.0%
・法人税、住民税及び事業税	380		409		
・法人税等調整額	3		4		
四半期純利益	777	14.8%	833	15.6%	107.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	777	14.8%	833	15.6%	107.2%

· 參考資料

▶ デジタルデータサービス事業を主力事業として全国展開

DDS

建設業務支援サービス「サイトアシストサービス」の提案

- クラウドストレージ/コミュニケーション/通信・ネットワーク/クラウド映像/プリンティングなどの各種サービスの組み合わせにより、ユーザーニーズに応じ、現場を支援する統合サービスを提供

SMS

測量計測システム・ICT施工関連システムの提案

- MDTS・GNSS等によるワンマン測量システムをレンタルで提供
- クラウド型転圧管理システム・3Dスキャナ等ICT施工関連システムの提供

その他
(地域限定)

- IT環境を含めた建設現場向けユニットハウス「スマートハウス」をレンタルで提供
- 道路の標識・白線設置などの専門工事

▶ CTSの使命：全国の建設業・建設現場を支援

全国の建設業・建設現場

- 建設業は日本を支える地場産業
- 建設業の活性化は、道路をはじめとした社会インフラ等の維持・発展と一体

建設現場の課題

- 少子高齢化などにより労働力不足が深刻
- 有期で毎回異なる仕事環境から、生産性を高める業務環境を構築しにくい

CTSはICTで建設現場の課題を解決

CTSの強み

建設業・建設現場に特化したICT支援で現場の生産性を向上

レンタル利用で導入コストが低い/短期現場でも使いやすい/資源消費の省力化に貢献

全国ネットワークで全国の建設現場を個別・トータルでサポート/全国で安定した品質

建設業の支援を通じて、持続可能な社会基盤の構築に貢献

建設業・建設現場に特化したICT支援（建設ICT）－ 参考資料 －

- ▶ CTSが提供するクラウドアプリを中心に、現場を遠隔地より支援する為の情報を統合して提供する現場業務支援サービス「サイトアシストサービス」を展開

サイトアシスト解説動画はこちら

https://youtu.be/_ol6knmdbaE



必要な情報へアクセス

施工現場



現場支援



本社・支店



本社

支社

現場支援

現場事務所



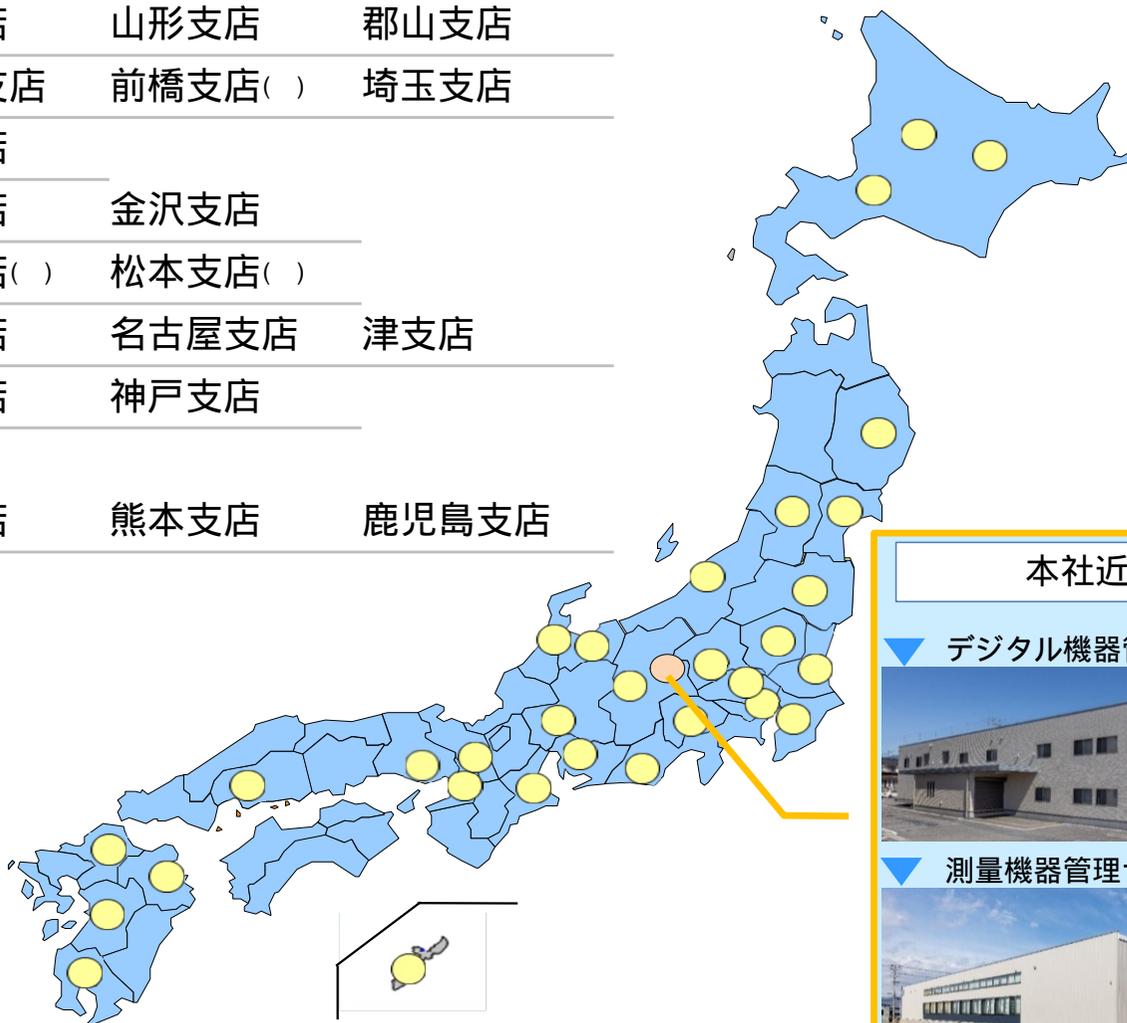
全国ネットワーク — 参考資料 —

▶ 現在全国に32支店を展開

▶ デジタル機器/測量機器 管理センターにより全国でのレンタル提案を支援

北海エリア	札幌支店	旭川支店	帯広支店	
東北エリア	盛岡支店	仙台支店	山形支店	郡山支店
関東エリア	水戸支店	宇都宮支店	前橋支店()	埼玉支店
	千葉支店	東京支店		
北陸エリア	新潟支店()	富山支店	金沢支店	
甲信エリア	甲府支店()	長野支店()	松本支店()	
東海エリア	岐阜支店	浜松支店	名古屋支店	津支店
近畿エリア	京都支店	大阪支店	神戸支店	
中国エリア	広島支店			
九州エリア	福岡支店	大分支店	熊本支店	鹿児島支店
沖縄エリア	那覇支店			

SH取扱い支店



サステナビリティについて – 参考資料 –

- ▶ ESG・SDGsの観点から、当社の事業方針を説明
- ▶ 持続可能性は事業の前提・SDGsは事業活動の延長線上でその一部へ貢献



詳細は当社ホームページ「サステナビリティについて」の項をご参照ください。
<https://www.cts-h.co.jp/company/sustainability/>

主なリリース – 参考資料 –

発表日	リリース区分	内容
2023年9月1日	組織	経営組織機構の変更及び取締役の管掌変更に関するお知らせ
2023年7月25日	事業	建設現場の人手不足を解消し働き方改革を推進する新サービス「サイトアシスト」リリースに関するお知らせ
2023年7月5日	事業	タイムラプス動画自動作成システム「PictureMaker」がNETIS登録されました
2023年6月30日	事業	測量機器の点検・調整・修理・校正サービスに関する特設サイトを開設しました
2023年5月15日	事業	現場端末システム「Mr.Samurai 3D」がNETIS登録されました
2023年4月28日	その他	中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）策定に関するお知らせ
2023年4月12日	事業	ファイルフォース株式会社の第三者割当増資に対する東日本電信電話株式会社との共同出資完了のお知らせ
2023年4月3日	事業	NETIS登録されている当社の「どこでもカメラ」がNETIS「-VE」に昇格しました
2023年3月28日	その他	給与水準の引き上げに関するお知らせ
2023年3月15日	組織	九州エリアにおける営業体制再編に関するお知らせ
2023年1月31日	その他	関係会社株式評価損（個別）及び持分法による投資損失（連結）の計上に関するお知らせ
2023年1月23日	事業	アクシス社（Axis Communications）の「GOLDパートナー」に認定されました
2022年10月12日	事業	「Geo-Level Cloud」と「Geo-Press Cloud」が国土交通省の「ICT建機等認定制度」における『ICT建機等』に認定されました
2022年9月21日	事業	長野県軽井沢町における「ライブ映像配信システム」の実証実験開始に関するお知らせ
2022年7月29日	事業	群馬県での簡易型河川監視カメラの運用におけるクラウドサービス「PictureMaker」採用のお知らせ
2022年7月29日	組織	帯広支店および埼玉支店開設に関するお知らせ
2022年6月10日	事業	クラウドサービス「PictureMaker」のサービス提供開始のお知らせ
2022年4月1日	組織	旭川支店および大分支店開設に関するお知らせ

株式情報(2023年9月30日現在) — 参考資料 —

発行済株式数	43,400,000株
株主数	7,020名

大株主上位10名	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合()
有限会社横島	16,000,000	37.8%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,631,900	8.6%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,329,000	5.5%
株式会社八十二銀行	835,200	1.9%
GOVERNMENT OF NORWAY	811,700	1.9%
K I A F U N D 1 3 6	769,100	1.8%
猪股和典	666,000	1.6%
シーティーエス社員持株会	663,200	1.6%
株式会社三井住友銀行	640,000	1.5%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	528,634	1.2%
計	26,874,734	63.4%

所有株式数別状況	株主数 (名)	持株数 (株)	株主 構成比	持株 構成比
100株未満	1,042	14,231	14.8%	0.0%
100株以上500株未満	3,721	651,625	53.0%	1.5%
500株以上1,000株未満	736	455,711	10.5%	1.1%
1,000株以上5,000株未満	1,091	2,135,209	15.5%	4.9%
5,000株以上10,000株未満	177	1,258,108	2.5%	2.9%
10,000株以上50,000株未満	187	3,854,255	2.7%	8.9%
50,000株以上100,000株未満	26	1,779,584	0.4%	4.1%
100,000株以上500,000株未満	29	5,355,698	0.4%	12.3%
500,000株以上	11	27,895,579	0.2%	64.3%

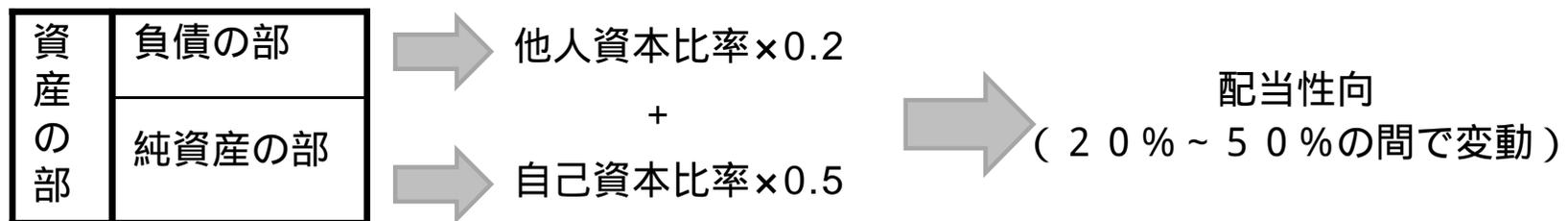
所有者別株式分布状況	株主数 (名)	持株数 (株)	株主 構成比	持株 構成比
個人・その他	6,829	12,110,711	97.3%	27.9%
金融機関	12	7,844,400	0.2%	18.1%
その他の法人	49	16,458,800	0.7%	37.8%
外国法人等	102	5,379,018	1.5%	12.4%
金融商品取引業者	27	586,226	0.4%	1.4%
自己名義株式	1	1,020,845	0.0%	2.4%

自己株式1,020,845株は上記から除いております

発行済株式総数から自己株式1,020,845株を除き所有株式数の割合を計算しております

期末配当金の算出方法

$$\text{配当性向} = \text{自己資本比率} \times 0.5 + (1 - \text{自己資本比率}) \times 0.2$$



- 配当金総額 = 当期純利益 × 配当性向 - 中間配当金総額
 - 1株当たり期末配当金 = 配当金総額 ÷ 発行済株式総数
- 配当金の原資は、税引き後の当期純利益とします

その他

- ・ その他配当金に関する詳細は当社内規に基づいて行われます
- ・ 特別な損益等の特殊要因により税引き後の四半期純利益又は当期純利益が大きく変動する事業年度については、その影響を考慮し、配当額を決定します
- ・ 特別な貸借等の特殊要因により自己資本比率が大きく変動する事業年度については、その影響を考慮し、配当性向を決定します。
- ・ 1株当たり配当金の10銭未満は切り上げて算出しております

本資料における注記事項

この資料に記載されている当社の現在の計画、戦略、見通しなどのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた判断に基づいております。経済、競合状況にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合があります。

各業績数値及び増減額等については、単位未満を切り捨てて表示しております。
増減率等については、小数点第二位を四捨五入して表示しております。



株式会社 シーティーエス

投資家情報のほか、会社概要、製品情報やニュースなど、シーティーエスに関する様々な情報をご覧いただけます

<https://www.cts-h.co.jp/>

